

「せんせい、ありがとう。ようちえんのことわすれないよ。しょうがつこうじにいつてもわすれないよ。せんせいのことわすれないよ。だからぼくのこともわすれないでね」。この春、幼稚園を卒園した孫が先生にそつと渡した手紙である。

「わすれないよ」という表現こそ、人間にとって切なく素朴な「愛の表現」なのだなぁと改めて思い、人生の中で心のふるさと、幼児教育の果たす役割の大きさを感している。

友達と笑ったりケンカしたり、夢中で何かに取り組み、協調性や忍耐力、役割を果たす喜びなどの人格の基礎を育てる幼児教育の重要性は今、世界中で強く認識し直されている。きち

幼児教育の果たす大ききり

んとした幼児教育を受けた子供たちは成人して比較的高い収入を得、結婚や社会生活の中で安定と幸福を得られるというノーベル賞受賞者の研究もある。

日本では昨年春に国立の「幼児教育研究センター」が設けられた。研究とネットワーク作りなどに取り組み、今国会では「幼児教育振興法」を成立させて幼稚園、認定こども園、保育園のすべての場で質の高い幼児教育が受けられるよう、私も幼児教育議員連盟メンバーとして走り回っているところである。

この春は小中学校の次期学習指導要領も告示される。社会科の学習指導要領では、竹島と尖閣諸島について初めて「我が国

参院議員 山谷えり子



〈やまたに・えりこ〉サ
ンケイリビング新聞編集
長、国務大臣(国家公安委
員長・拉致問題担当相)な
ど歴任。1男2女の母。

固有の領土」と明記されたことは感慨深い。

定期的に孫に届く総合雑誌に、小学校入学を控えて日本地図が付録としてついていたのでどれどれと広げてみた。すると、北方領土、竹島、尖閣諸島が明記されているだけでなく、礼文島、利尻島、佐渡島、隠岐諸島、対馬、硫黄島、与那国島など、多くの島々と47都道府県の名前が平仮名で記されているではないか。嬉しくなって、

あって、第2次安倍内閣のとき改めて調査してみると、532の国境離島のうち273の島が所有者不明であった。所有者不明の土地は法律で国庫に帰属することになるので、3年前、私が海洋政策・領土問題担当大臣の時、約1年かけて所有者不明の島々の所管の役所を決定した。また全国の小中学校には海洋面積世界第6位の領土と海が描かれた日本地図も配布した。新渡戸稲造の「武士道」には

「バアバはこの島も、この島も歩いたし、この海も、この海も泳いだわ。日本はたくさんの良い場所があるのよ」と、幼い胸に冒険心と想像力をかきたてるべく、いささか張り切っておしゃべりをした。

ちなみに「日本は小さな島国」と私たちは教えられてきたが、実は6852の島々からなり、うち、国境離島だけでも532もの島がある。国境の島々から200海里(約370キロ)は排他的経済水域として主権が及ぶところとされているので、日本の領海と排他的経済水域を合わせた海洋面積はなんと世界第6位の海洋大国なのである。ところがこれまで呑気な面が

「国土とは、日本人にとり、単に金銀を掘り五穀を植えるためだけのものではない。神々と祖先の霊が宿る聖なる所なのである」との一節がある。先人と共に生かされているという独特の領土観は私たちを長く幸せな気持ちで包んできたよつこに思つた。

先日、良寛さんが托鉢して歩いたという佐渡島を望む越後の野山を歩いたが、「この里に手越つきつ子供らと遊ぶ春日は暮れずともよし」(良寛)の歌が思い出され、手まりの音やわらべの声が聞こえてくるようであった。風光り山笑ふ春に、幼児教育から生涯学習まで、知と情の豊かな国柄を守り発展させていきたい。

■ 解答乱麻 ■